

原油市場： 中長期石油等需給見通し (IEA、EIA、OPEC. . .)

2005年12月14日

調査部

野神 隆之

独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

1

IEA2005年世界エネルギー見通し

- 標準シナリオ、投資抑制シナリオ、世界代替政策シナリオに分け、世界石油需給とMENA(中東・北アフリカ)への依存を中心に2030年までの予測を実施。
- 残存可採埋蔵量の多いMENAに対しては今後多額の投資(石油上流部門で4,840億ドル、2004年価格)が必要だが、その調達が課題。
- 投資が停滞した場合、生産量が低下し、価格の上昇やGDPの減少、生産国の石油輸出収入の減少が発生。
- 効率的なエネルギー利用の促進等の政策を積極的に実施した場合、石油・天然ガス需要や価格、二酸化炭素排出量が低下。

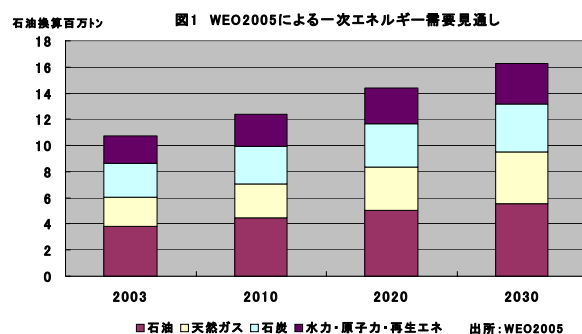
2

IEA、EIA、OPEC等の中長期見通し (2025~2030年まで)

- 世界の一次エネルギー需要において、石油は引き続き最大の一次エネルギー源、また天然ガス需要の伸びが顕著で、2020年前後までには石炭を抜いて第二位の一次エネルギー源に。
- 石油需要は輸送部門において、天然ガス需要は発電部門において、主に増加。
- 石油需要、天然ガス需要共に非OECD諸国で主に増加。
- 石油供給は長期的にはOPECの支配力増大、それに従って、原油価格も2010~2030年にかけて上昇傾向。
- 但し2010年までは非OPEC諸国からの供給も相当量増大することから、原油価格は現在の水準からは下落すると予想。
- LNGはプロジェクトが完成する2010年までは需給がタイトとなる可能性があるが、長期的には供給能力が貿易量を上回る恐れもあるとの指摘あり(CERA)。←異なる見方?も登場

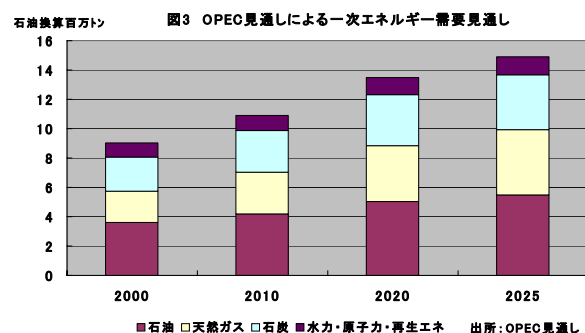
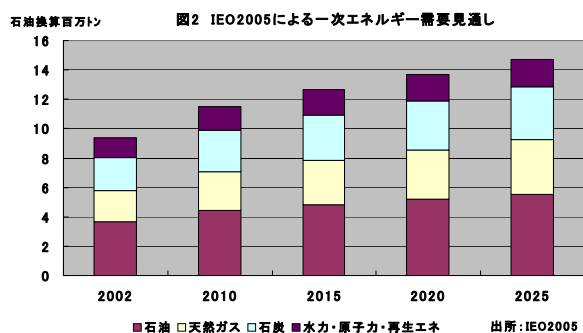
3

一次エネルギー需要見通し



注)

WEO2005: World Energy Outlook 2005 Middle East and North Africa Insights (IEA)
IEO2005: International Energy Outlook 2005 (EIA)
AEO2006: Annual Energy Outlook 2006 (EIA)
OPEC見通し: Oil Outlook to 2025 (OPEC)



4

石油需要見通し

図4 WEO2005見直しによる石油需要見直し

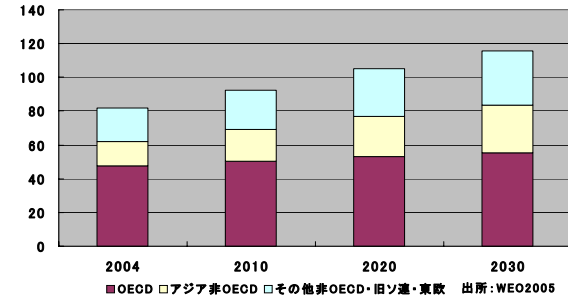


図6 OPEC見直しによる石油需要見直し

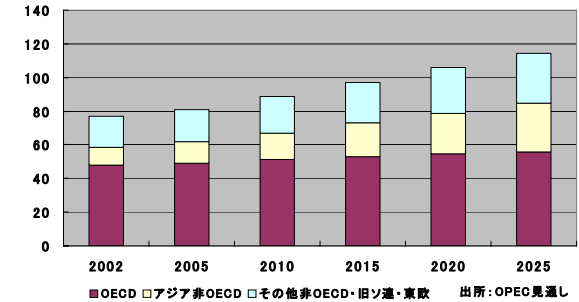
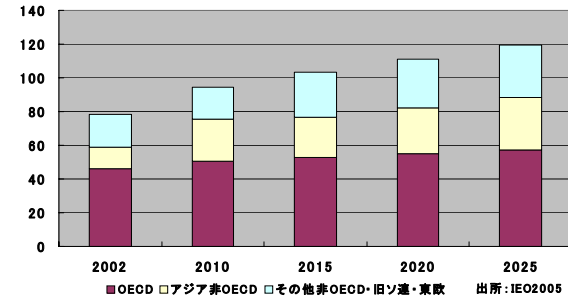
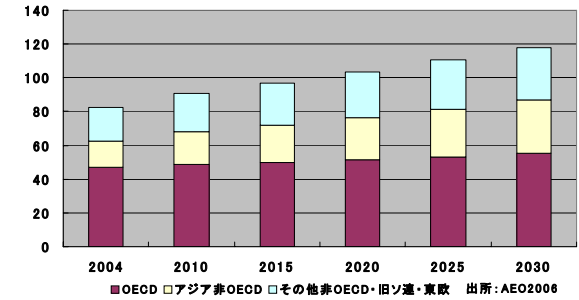


図5 IEO2005見直しによる石油需要見直し



AEO2006見直しによる石油需要見直し



注:IEO2005及びAEO2006には一部のOECD諸国(東欧)を旧ソ連・東欧に含んでいる

天然ガス需要見通し

図7 WEO2005による天然ガス需要見直し

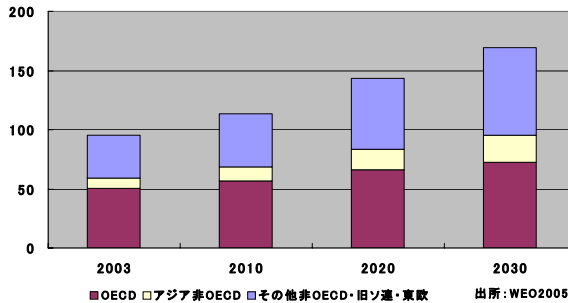


図8 IEO2005による天然ガス需要見直し

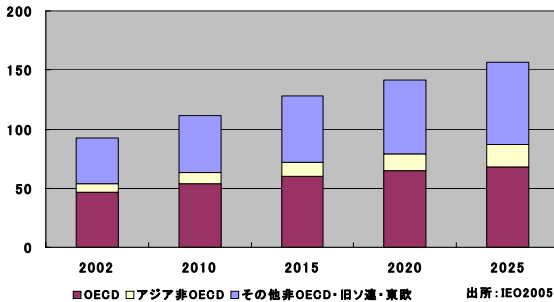
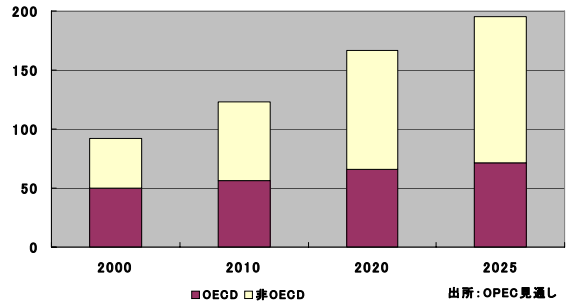


図9 OPEC見直しによる天然ガス需要見直し



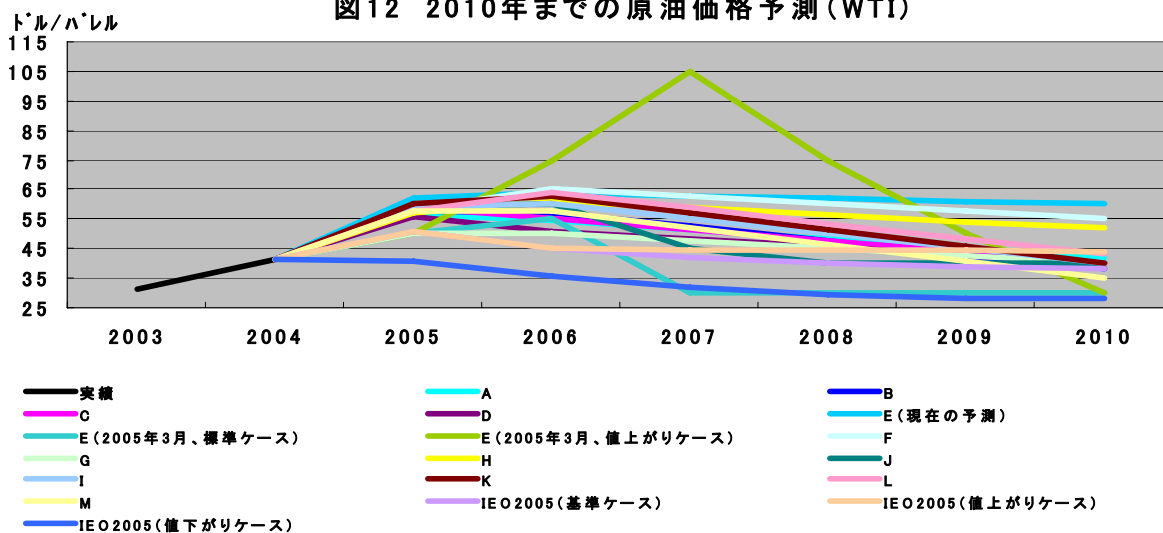
天然ガス価格シナリオ(ドル/百万Btu)

	2004	2010	2020	2025	2030
WEO2005 IEA天然ガス輸入価格(2004年価格)					
標準シナリオ	5.70	5.80	5.90	-	6.20
投資停滞シナリオ	5.70	6.60	7.10	-	7.80
IEO2005 天然ガス井戸元価格(2003年価格)					
標準ケース	5.47	3.63	4.45	4.83	-
高価格ケース	5.47	3.74	4.60	5.32	-
低価格ケース	5.47	3.61	4.32	4.68	-
米国DOE/EIA Annual Energy Outlook 2006(速報版) 天然ガス井戸元価格(2004年価格)					
標準ケース	5.49	5.03	4.90	5.43	5.92

出所: IEA, EIA

2010年までは原油価格下落?

図12 2010年までの原油価格予測(WTI)



*: 2007~9年は一部推定、A、Bはコンサルタント、C~Gは米系投資銀行、H~Iは英系投資銀行、Jは独系投資銀行、J~Lはスイス系投資銀行、Mは豪系投資銀行

出所: 各機関資料他